

2024年07月30日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【今日明日に日銀金融政策決定会合とFOMC】

今日明日(2024年7月30日、31日)に日銀金融政策決定会合、同じく、今日明日(2024年7月30日、31日)にFOMCが開催されます。

それぞれの結果が発表されるのは、日銀金融政策決定会合が、明日(2024年7月31日)の東京時間昼頃。

そして、FOMCの結果発表は、東京時間ならば、明後日(2024年8月1日)の午前3時。

だから、日銀金融政策決定会合の結果が先で、その後で、FOMCの結果が発表されることになります。

どちらも、大いに注目すべきイベントです。

+++++

上述の通りに、日銀の方がFOMCよりも先なのですが、FOMCの方が読み易い。

つまり、事前の予想では、FOMCの方が日銀よりもコンセンサス(意見の一致)が強い。

今回のFOMCでの大方の予想が、政策金利据え置き。

ただし、物価上昇率が目標の2%に近付いていると認識して、9月のFOMCでの利下げを示唆する可能性が高い、といった声も大きい。

+++++

それに対して、今回の日銀金融政策決定会合は、事前の予想が、少し難しい。

追加利上げについて議論することは、既に明確。

今回の日銀金融政策決定会合で、追加利上げが実施されるのか、政策金利据え置きになるのか、意見が分かれるところ。

ただし、事前予想としては、政策金利据え置きを予想する方が優勢。

+++++

今回の日銀金融政策決定会合では、金融緩和策として実施してきた国債の買い入れ額について、減額することが発表されています。

現在の国債の買い入れ額は、月額 6 兆円程度ですが、減額の規模やペースを具体的に示すことになっています。

それが、どの程度になるのか、規模の大小や、ペースの早い遅いは、ドル円相場に大きく影響する、と考えます。

+++++

今回の日銀金融政策決定会合で、大方の事前予想通りに、政策金利据え置きになれば、マーケット（外国為替市場）は、「ドル買い円売り」に動くだろう、と考えます。

ただし、その後に F O M C を控えているので、今回の日銀金融政策決定会合でのマーケット（外国為替市場）の反応は、限定的になるのではないかと、今のところ考えています。

+++++
+++++

(2024 年 07 月 30 日東京時間 15 : 05 記述)